

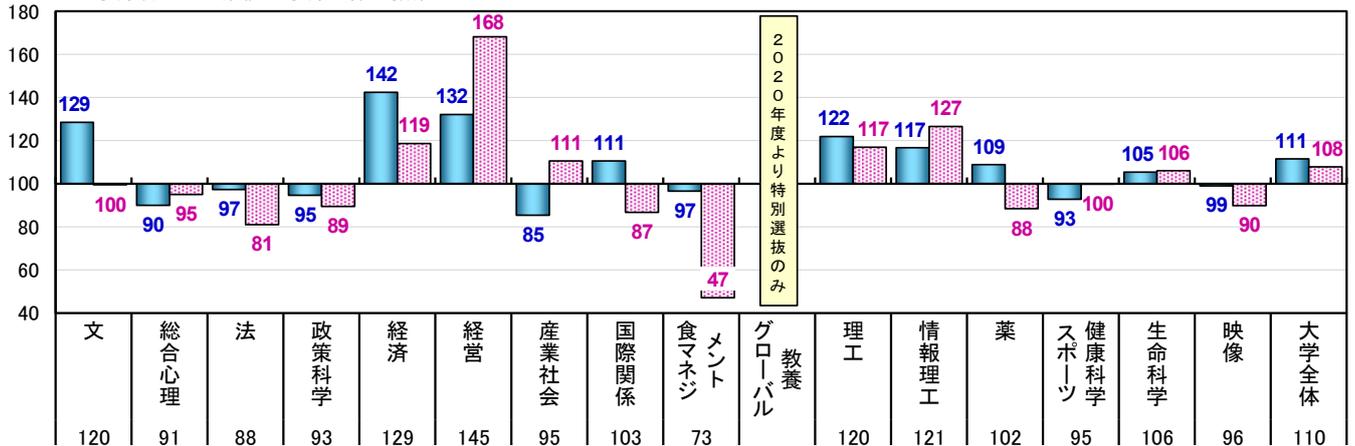
2020 年度入試状況分析【私立大】

立命館大：志願者数は初めて 10 万人を突破

一般：+6,577 人 センター：+2,894 人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■センター利用方式



入試変更点

改組：文(人文/コミュニケーション)→(人文/国際コミュニケーション)、(人文/言語コミュニケーション)
理工(数理科学)→(数理科学/データサイエンス)、(数理科学/数学)

入試科目：産業社会<学部個別>…国+歴公+外→国+外+(歴公 or 数)

選抜方法：食マネジメント<理系3教科>数+理+外…新規実施

スポーツ健康科学<理系3教科>数+理+外…新規実施

国際関係<IR>…英語外部試験の対象試験に TEAP 追加、スコアの変更

グローバル教養<センター+面接>…廃止

スポーツ健康科学<学部個別理科1科目>…廃止

募集人員：文(人文/日本史)<全学統一>…46人→50人、<学部個別>…16人→19人

(人文/地域研究)<全学統一>…48人→45人、<学部個別>…21人→18人

法<後期分割>…25人→23人

経済(経済/国際)<全学統一>…45人→40人

経営(国際経営)<全学統一>…45人→44人、<学部統一>…13人→12人

産業社会(現代社会/現代社会)<全学統一>…115人→127人、<学部個別>…18人→19人、

<後期分割>…28人→18人、<セ・後期>…5人→2人

(現代社会/メディア社会)<全学統一>…62人→65人、<学部個別>…9人→10人、

<後期分割>…13人→10人、<セ・後期>…3人→2人

(現代社会/スポーツ社会)<全学統一>…30人→33人、<学部個別>…4人→5人、

<後期分割>…9人→5人

(現代社会/子ども社会)<全学統一>…17人→21人、<学部個別>…2人→3人、

<後期分割>…9人→4人

(現代社会/人間福祉)<全学統一>…45人→46人、<学部個別>…8人→9人、

<後期分割>…7人→5人

情報理工<全学統一>…144人→149人、<後期分割>…20人→15人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では9,471人(110)の増加で、2年ぶりに増加し、志願者数は初めて10万人を突破。学部別では、15学部中8学部が増加し、経営(145)、経済(129)、情報理工(121)、文(120)、理工(120)は大幅増加。一方で、食マネジメント(73)は大幅減少。

<一般方式>

○文(129)は、2年ぶりに大幅増加。学域別では、(人文/国際コミュニケーション、言語コミュニケーション)(167)は改組前の(人文/コミュニケーション)と比べると大幅増加。既存の学域も全て増加。

○総合心理(90)は、減少で2年連続減少。方式別では、<後期分割>(174)が大幅増加。<学部理系>(130)と<学部文系>(78)はどちらも前年度と逆の増減。

○法(97)は、やや減少で2年連続減少。

○政策科学(95)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、<後期分割>(222)のみ2.2倍の激増。

○経済(142)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(経済/国際)(144)は2年連続大幅増加、(経済/経済)(142)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。

○経営(132)は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、(経営)(134)は2年連続減少の反動で大幅増加、(国際経営)(129)は2年連続大幅増加。

○産業社会(85)は、大幅減少。専攻別では、(現代社会/子ども社会)(161)、(現代社会/人間福祉)(127)は大幅増加。一方で、(現代社会/現代社会)(68)は大幅減少、(現代社会/メディア社会)(91)、(現代社会/スポーツ社会)(93)は2年連続減少。

○国際関係(111)は、増加で前年度の反動による増減が継続。専攻別では、(国際関係/グローバル・スタディーズ)(177)は大幅増加、(国際関係/国際関係)(105)はやや増加。

○食マネジメント(97)は、やや減少で2年連続減少、新規実施の<理系3教科>を除くと(90)の減少。方式別では<後期分割>(166)は大幅増加、<学部個別>(66)が大幅減少、<全学統一文系>(86)は減少。

2020 年度入試状況分析【私立大】

- 理工(122)は、系統への人気上昇で大幅増加。8学科全てが増加し、(建築都市デザイン)以外はいずれも大幅増加。2コース制になった(数理科学)(181)は激増。
- 情報理工(117)は、系統への人気上昇に加え、前年度大幅減少の反動で大幅増加。3方式とも増加し、特に<後期分割>(177)は激増。
- 薬(109)は、2学科とも前年度大幅減少の反動で増加。方式別では、<薬学>(130)は3年連続減少の反動で大幅増加。<後期分割>(112)は増加で、他の3方式は減少。
- スポーツ健康科学(93)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まったが、新規実施の<理系3教科>を除くと(85)の大幅減少。
- 生命科学(105)は、3年連続増加。学科別では、(生物工)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、他の3学科は増加し、特に(生命情報)(129)は2年連続大幅増加。
- 映像(99)は、微減。前年度は2年連続増加で志願者数が2017年度の1.5倍まで増加した反動はなかった。

<センター利用方式>

- 文(100)は、前年度並で3年連続大幅減少の反動はみられなかった。学域別では、(人文/国際コミュニケーション、言語コミュニケーション)(117)は改組前の(人文/コミュニケーション)と比べると大幅増加。(人文/日本文学研究)(117)も大幅増加だが、(人文/国際文化)(82)、(人文/地域研究)(84)は大幅減少。
- 総合心理(95)は、やや減少で4年連続減少。方式別では、<セ・7科目>(132)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 法(81)は、2年連続増加の反動で大幅減少。方式別では、<後期型>(110)は増加したが、他の方式は減少。前年度合格最低点をアップさせたことで敬遠された。
- 政策科学(89)は、2年連続減少。方式別では、<セ・併用>(108)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、<セ・7科目>(67)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- 経済(119)は、2年連続減少の反動で大幅増加。専攻別では、(経済/国際)(244)が2年連続大幅増加で倍以上。(経済/経済)(114)は2年連続減少の反動で増加。
- 経営(168)は、2年連続減少の反動に加え、前年度合格最低点をダウンさせた募集単位が多かったことから狙われて大幅増加。学科別では、(国際経営)(230)、(経営)(160)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 産業社会(111)は、2年連続増加。専攻別では、(現代社会/スポーツ社会)(66)は大幅減少だが、他の専攻は増加。特に(現代社会/子ども社会)(203)が2年連続減少の反動で倍以上、(現代社会/人間福祉)(136)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 国際関係(87)は、3年連続減少。方式別では、<セ・後期型>(124)が大幅増加。他の4方式は減少。
- 食マネジメント(47)は、大幅増加の反動でほぼ半減。方式別では、<セ・後期型>(105)以外の4方式は減少し、<セ・3教科>(39)、<セ・5教科>(40)、<セ・7科目>(44)は半減以下。前年度合格最低点を大きくアップさせたことで敬遠された。
- 理工(117)は、系統への人気上昇で大幅増加し、2年連続増加。8学科全てが増加し、(物理科学)(154)、(環境都市工)(127)などが大幅増加。
- 情報理工(127)は、系統への人気上昇に加え、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 薬(88)は、3年連続減少。2学科とも減少し、特に(創薬科学)(75)は大幅減少。
- 生命科学(106)は、やや増加で2年連続増加。学科別では、(生物工)(96)はやや減少したが、他の3学科は増加。(応用化学)(114)は4年連続増加。
- 映像(90)は、2年連続増加の反動で減少。